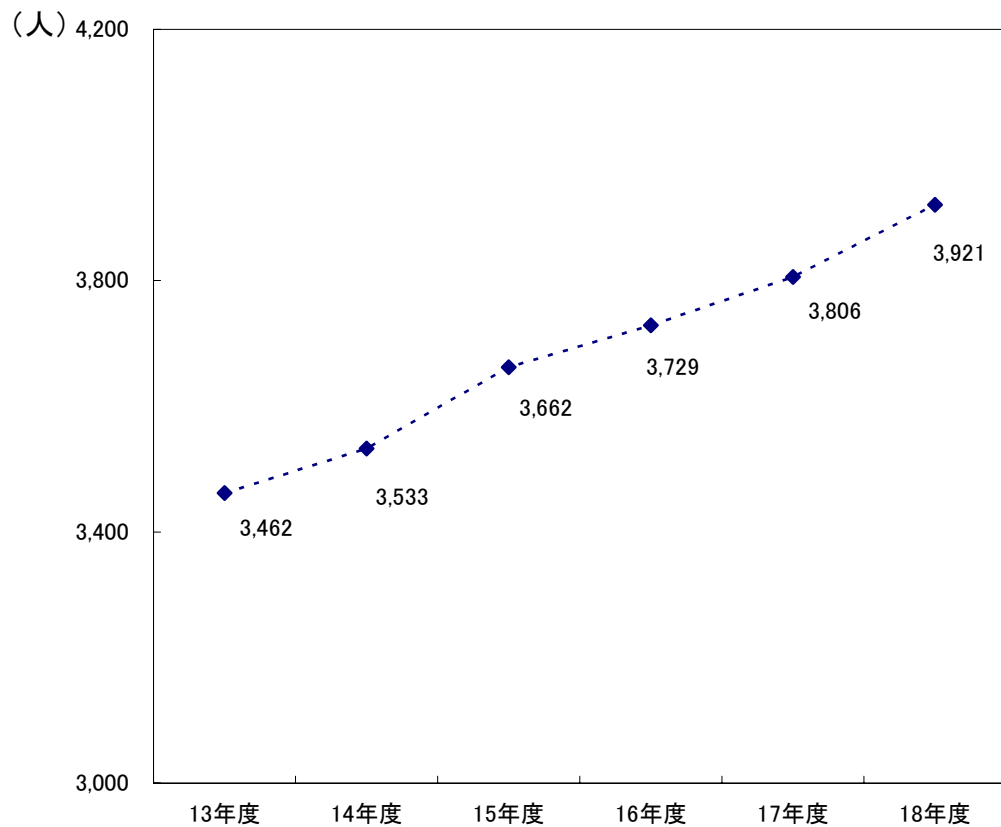


## 2. 障害者等の状況

### (1) 身体障害者

#### ① 身体障害者（児）の推移

身体障害者（児）の数は、平成13年度から一貫して増加しています。平成19年1月1日現在3,921人で、平成13年度と比べると459人増加しています。



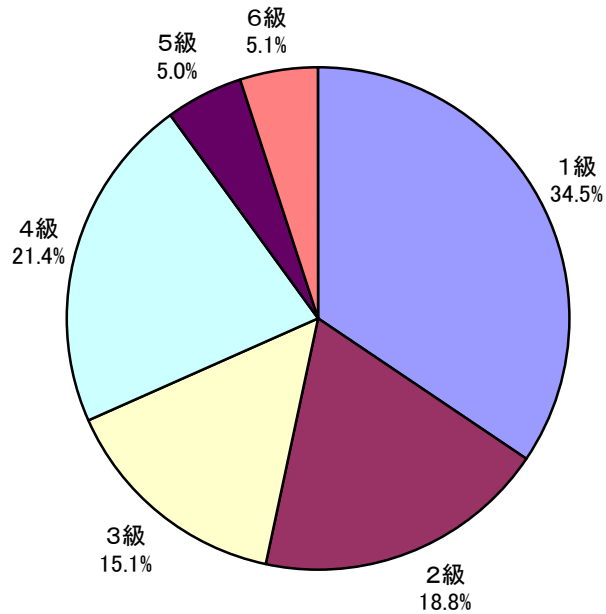
資料：社会福祉課台帳

数値は、各年度末。ただし平成18年度は、平成19年1月1日現在  
平成14年度以前は旧関宿町を含む。

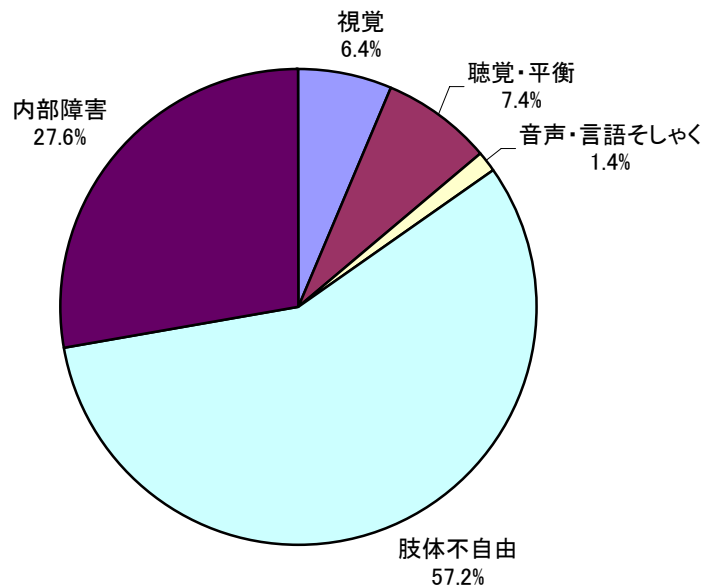
## ② 等級別障害類型表

重度身体障害者（身体障害者1級及び2級所持者）の数は、全体の53.3%と半数を越えています。障害種別では、肢体不自由が57.2%と過半数を占めています。

等級別割合



障害種別割合



資料：社会福祉課台帳  
平成19年1月1日現在

### ③ 手帳交付状況

障害種別では、肢体不自由が最も多く、次に内部障害となっています。  
また年齢では18歳以上が圧倒的に多い状況となっています。

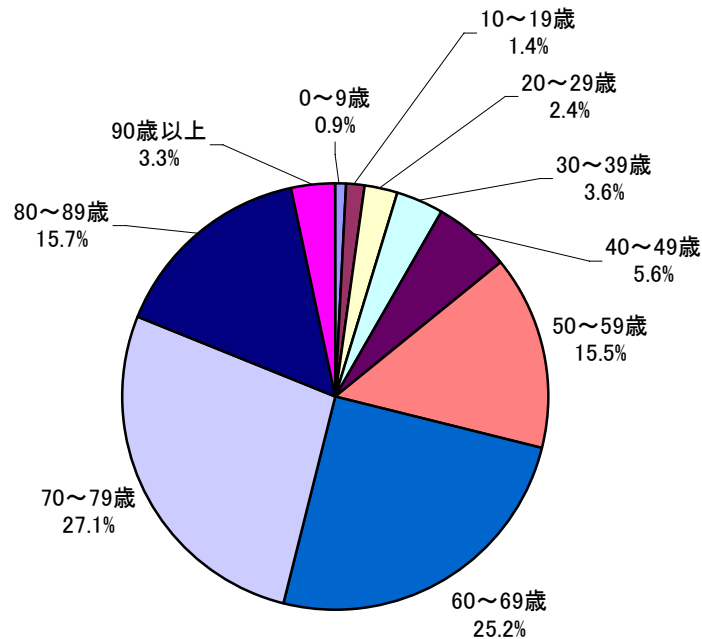
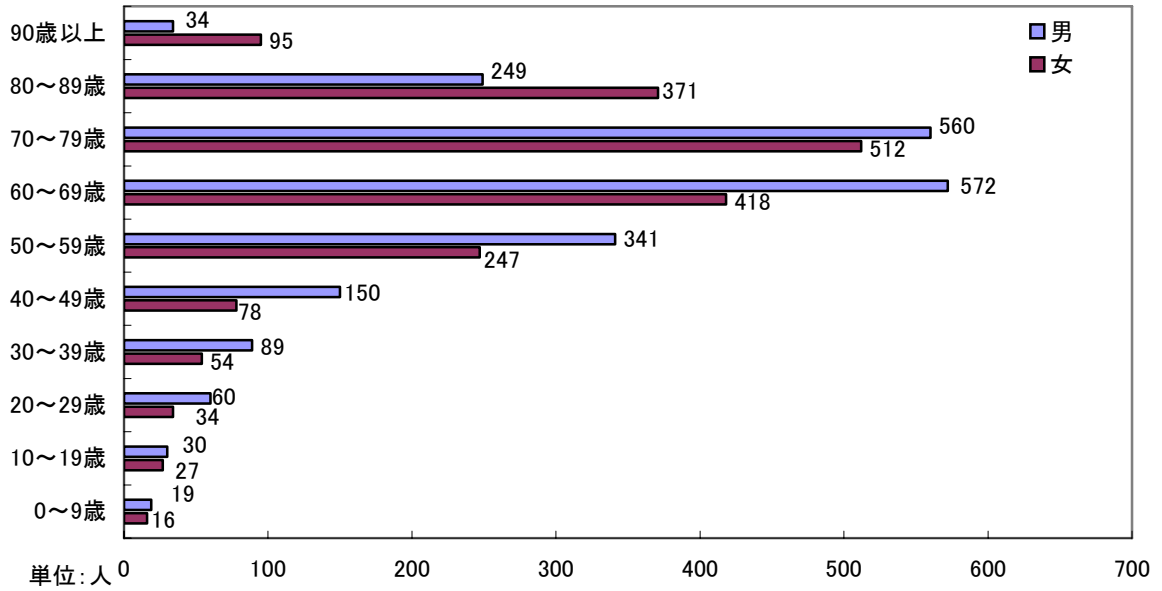
(1) 身体障害者手帳交付状況(19. 1. 1現在)

区 分 障 害 別		身体障害者 手帳所持者	内 訳						
			1級	2級	3級	4級	5級	6級	
視 覚 障 害	18歳未満	2	2	0	0	0	0	0	
	18歳以上	247	96	63	18	19	33	18	
	計	249	98	63	18	19	33	18	
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 害	18歳未満	12	0	4	1	3	0	4	
	18歳以上	279	19	103	28	57	2	70	
	計	291	19	107	29	60	2	74	
音 声 ・ 言 語 そしやく機能障害	18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	
	18歳以上	55	3	9	32	11	0	0	
	計	55	3	9	32	11	0	0	
肢 体 不 自 由	18歳未満	56	30	10	7	4	3	2	
	18歳以上	2,186	502	531	349	540	159	105	
	計	2,242	532	541	356	544	162	107	
内 部 障 害	18歳未満	7	3	0	2	2	0	0	
	18歳以上	1,077	699	16	157	205	0	0	
	計	1,084	702	16	159	207	0	0	
	心 臓	18歳未満	5	3	0	1	1	0	0
		18歳以上	590	403	3	102	82	0	0
		計	595	406	3	103	83	0	0
	呼 吸 器	18歳未満	0	0	0	0	0	0	0
		18歳以上	72	20	5	39	8	0	0
		計	72	20	5	39	8	0	0
	じ ん 臓	18歳未満	0	0	0	0	0	0	0
		18歳以上	274	266	0	8	0	0	0
		計	274	266	0	8	0	0	0
	ぼ う こ う 又 は 直 腸	18歳未満	2	0	0	1	1	0	0
		18歳以上	120	0	1	7	112	0	0
		計	122	0	1	8	113	0	0
	小 腸	18歳未満	0	0	0	0	0	0	0
		18歳以上	3	0	0	0	3	0	0
		計	3	0	0	0	3	0	0
	免 疫	18歳未満	0	0	0	0	0	0	0
		18歳以上	18	10	7	1	0	0	0
		計	18	10	7	1	0	0	0
合 計	18歳未満	77	35	14	10	9	3	6	
	18歳以上	3,844	1,319	722	584	832	194	193	
	計	3,921	1,354	736	594	841	197	199	

資料：社会福祉課台帳  
平成19年1月1日現在

#### ④ 年齢別身体障害者手帳所持者数

年齢別障害者手帳所持者数は、70歳から79歳までの人が1072人と1番多く全体の27.1%となっています。また、50歳以上の所持者数は全体の86.8%を占めています。

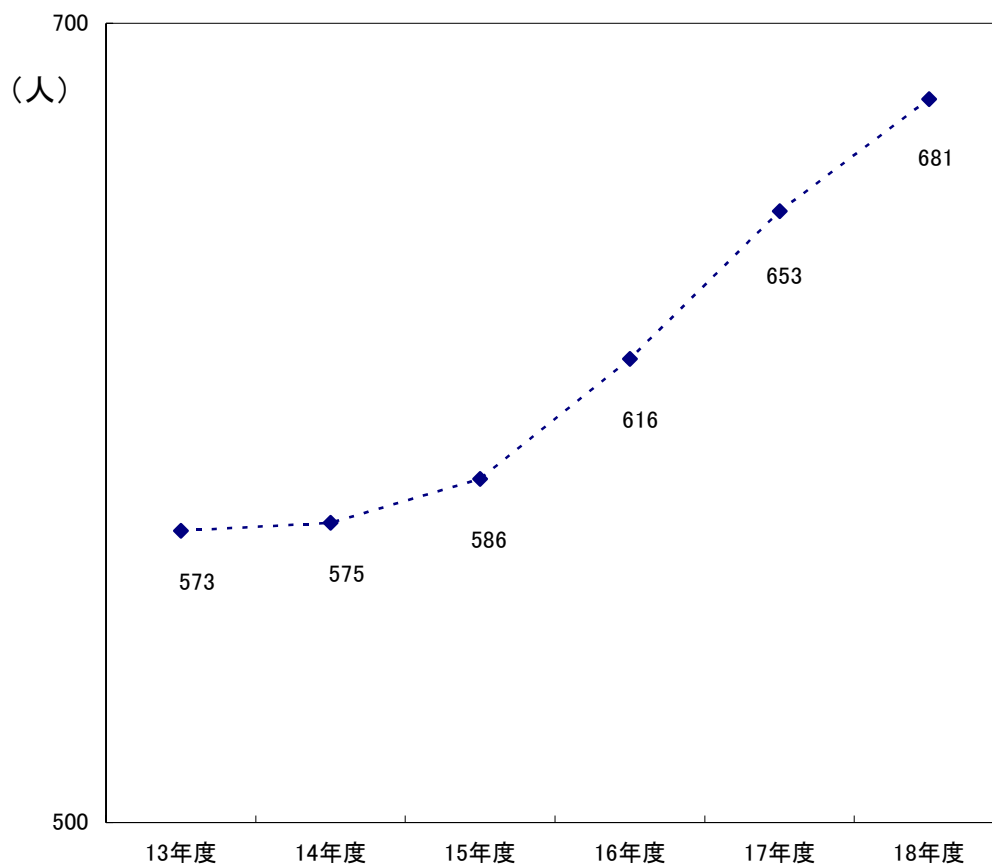


資料：社会福祉課台帳  
平成19年1月1日現在

## (2) 知的障害者

### ① 知的障害者（児）の推移

知的障害者（児）の数は、年々増加していますが、平成15年度を境に伸びが大きくなっています。



資料：社会福祉課台帳

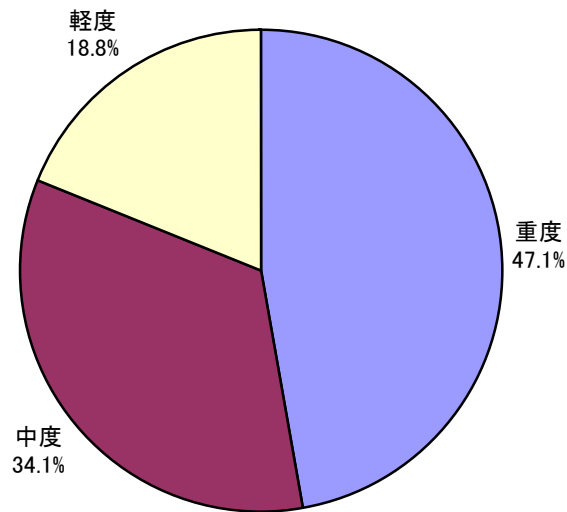
数値は各年度末。ただし平成18年度は、平成19年1月1日現在  
平成14年度以前は旧関宿町を含む。

② 程度別療育手帳所持者数等

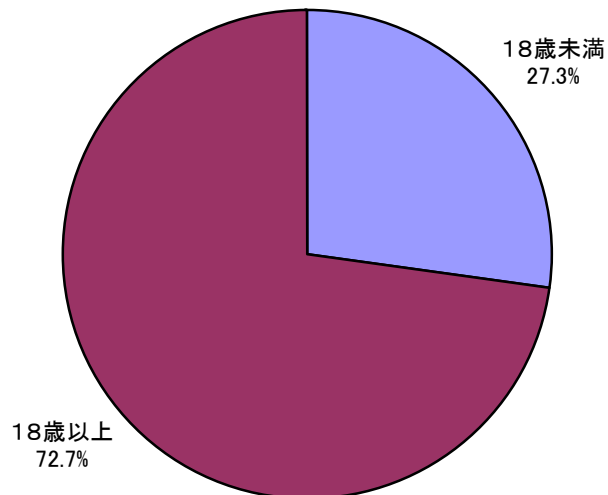
重度の判定を受けている者は、全体で327人、全体の48.7%を占めています。また、年齢別にみると、18歳未満の割合は、全体の27.3%となっています。

総計	18歳以上				18歳未満			
	重度	中度	軽度	計	重度	中度	軽度	計
681	239	192	64	495	82	40	64	186

知的障害者程度別割合



知的障害者年齢別割合



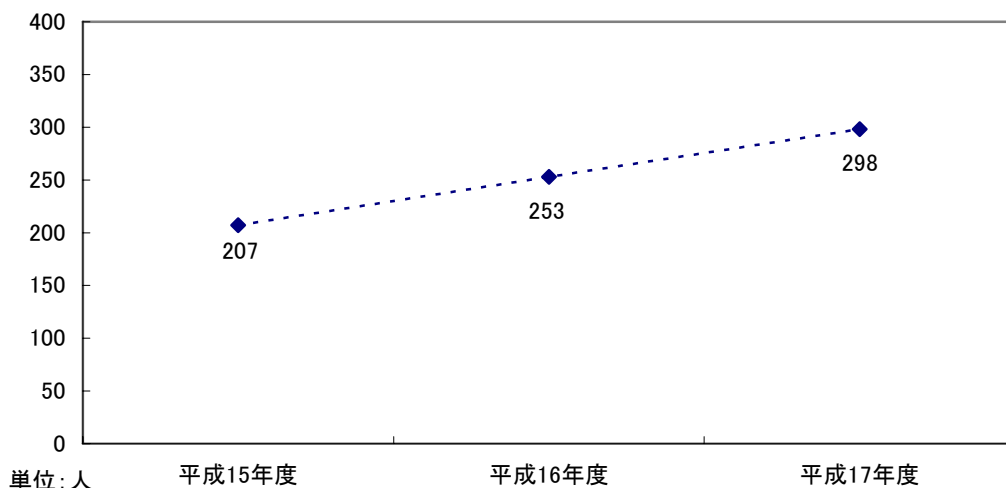
資料：社会福祉課台帳  
平成19年1月1日現在

### (3) 精神障害者

#### ① 精神障害者保健福祉手帳所持者の推移

精神障害者保健福祉手帳所持者の数は、年々増加しています。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
1級	24	27	36
2級	134	168	189
3級	49	58	73
合計	207	253	298



資料：野田保健所「事業年報」  
数値は各年度末

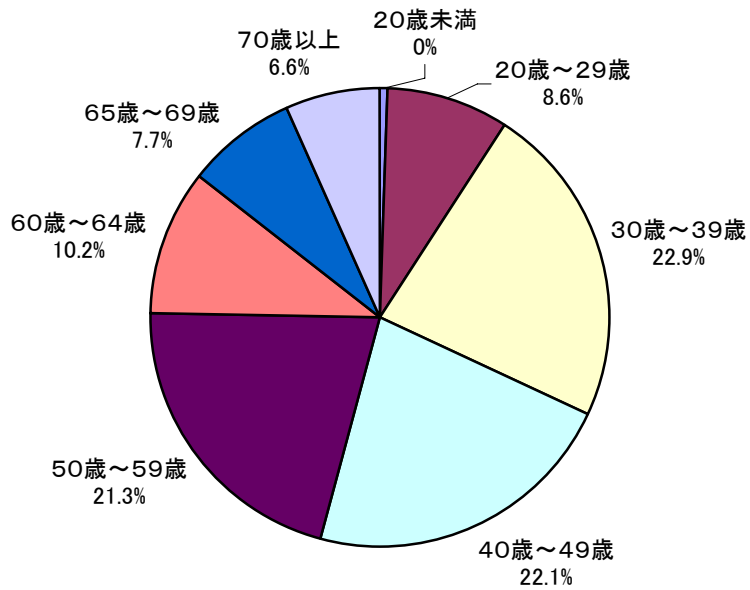
#### ② 年齢別手帳所持者数

手帳については、20歳以上の方だけが所持している状況です。なお、30歳から59歳の年齢層が全体の66.3%と、3分の2を占めています。

	総数	1級	2級	3級
20歳未満	2	1	1	0
20歳～29歳	31	3	19	9
30歳～39歳	83	2	62	19
40歳～49歳	80	3	49	28
50歳～59歳	77	17	46	14
60歳～64歳	37	7	21	9
65歳～69歳	28	9	12	7
70歳以上	24	12	9	3
合計	362	54	219	89

資料：社会福祉課台帳  
平成19年1月1日現在

精神障害者年齢別割合

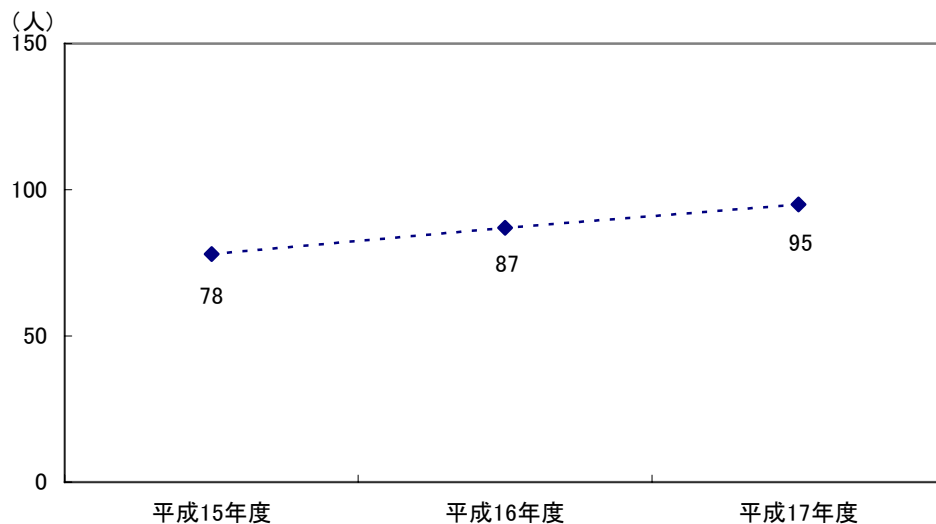


資料：社会福祉課台帳  
平成19年1月1日現在

(4) 難病患者

① 特定疾病重症患者認定者の推移

認定者の数は、年々増加している状況です。



資料：野田保健所「事業年報」  
数値は各年度末

## ② 特定疾患の種類

特定疾患治療研究事業は、「原因不明、治療方法未確立であり、かつ後遺症を残すおそれが少なくない疾病」として調査研究を進めている疾患のうち、診断基準が一応確立し、かつ難治度、重症度が高く患者数が比較的少ないため、公費負担の方法をとらないと原因の究明、治療方法の開発等に困難をきたすおそれのある疾患を対象としています。

本事業は、昭和47年度にベーチェット病など4疾患を対象として発足し、それ以降対象疾患が徐々に拡大され、平成18年10月現在、45疾患が対象となっています。

### <特定疾患治療研究事業対象疾患一覧>

1. ベーチェット病	24. モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)
2. 多発性硬化症	25. ウェゲナー肉芽腫症
3. 重症筋無力症	26. 特発性拡張型(うっ血型)心筋症
4. 全身性エリテマトーデス	27. 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)
5. スモン	28. 表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)
6. 再生不良性貧血	29. 膿疱性乾癬
7. サルコイドーシス	30. 広範脊柱管狭窄症
8. 筋萎縮性側索硬化症	31. 原発性胆汁性肝硬変
9. 強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	32. 重症急性膵炎
10. 特発性血小板減少性紫斑病	33. 特発性大腿骨頭壊死症
11. 結節性動脈周囲炎	34. 混合性結合組織病
12. 潰瘍性大腸炎	35. 原発性免疫不全症候群
13. 大動脈炎症候群	36. 特発性間質性肺炎
14. ビュルガー病	37. 網膜色素変性症
15. 天疱瘡	38. プリオン病
16. 脊髄小脳変性症	39. 原発性肺高血圧症
17. クローン病	40. 神経繊維腫症
18. 難治性の肝炎のうち劇症肝炎	41. 亜急性硬化性全脳炎
19. 悪性関節リウマチ	42. バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群
20. パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	43. 特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)
21. アミロイドーシス	44. ライソゾーム病
22. 後縦靭帯骨化症	45. 副腎白質ジストロフィー
23. ハンチントン病	